

前例のない 1 年：WHO の COVID-19 への対応

2020 年 12 月 23 日



その中で達成できた数々の実績と、パンデミックの終息に向けて今なお活動しているパートナーシップを振り返ります

危険なウイルスが出現して急速に世界中に広がるという、何十年も前から公衆衛生のコミュニティが恐れていた事態が起きました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、人が集まると感染しますが、人々の結束によって解決される問題でもあります。他の人を守るための一人一人の小さな行動から、研究やイノベーションに関する国際的な協力まで、去年はさまざまな形で世界がウイルスに対抗するべく団結しました。そして、[COVID-19 のワクチンの接種開始](#)という大変な功績とともに年の瀬を迎えました。

WHO は、科学、具体的解決策、結束によって、この 100 年間で最大の健康上の脅威に対処しています。これらのツールを用いて展開してきた COVID-19 対応を概観します。

“世界中で **8,000 人** の WHO 職員が毎日、ほとんどの人々の目にふれないやり方で、健康を促進し、世界を安全に保ち、弱い立場の人々に奉仕しています。

我々がやっていることの多くはニュースの見出しになりません。

写真映えするものでもありません。

しかしそれは、**何十億人もの人々の生活に決定的な影響**をもたらします。”

Dr テドロス・アダノム・ゲブレイェソス

WHO 事務局長

ガイダンス、調整、リーダーシップ

WHO がパンデミックに対応するのはこれが初めてではありません。またこれが最後でもありません。しかし、COVID-19 はこれまでに直面した中で最も困難な危機です。

2020 年 1 月 30 日、WHO のテドロス・アダノム・ゲブレイェソス事務局長は、COVID-19 のアウトブレイクを「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」と宣言しました。この宣言は WHO の最高レベルの警鐘で、全ての国に注意を喚起し、直ちに行動を起こすよう呼び掛けています。

WHO の活動を日ごとに紹介する [インタラクティブなタイムライン](#) をご覧ください



未知のウイルスにどう立ち向かうべきか、各国は WHO に [ガイダンス](#) を求め、WHO はそれに応えました。この新しい感染症の最初の報告から 2 週間の内に、WHO は、ウイルスの検査方法、患者の治療方法、国民への情報提供、さらに多くの症例に備える方法について、各国に向けた最初のアドバイスを公表しました。

また、WHO は確立された専門家ネットワークを活用して、ワクチン、治療法、診断法、その他のツールの迅速な開発を促進しました。最初の COVID-19 の検査室検査は、科学者が [遺伝子配列](#) を共有してからわずか数日後に開発され、最初の検査キットは数週間以内に世界中の検査機関に出荷されました。

情報や物資の提供

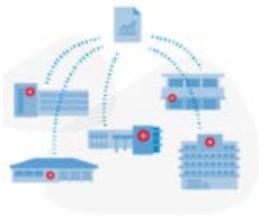
2020 年、WHO は世界中に救命用品や機器を送り、ウイルスの進化した性質や自分の身を守る方法についての重要な情報を何十億もの人々に伝えました。

[COVID-19 パートナーズ・プラットフォーム](#) は、150 以上の国、国連関連機関、900 以上のパートナーが、リアルタイムで行動と資源を一緒に調整できるようにすることで、健康危機への関与の新しいモデルを打ち出しました。

WHO の COVID-19 への対応における **主要な成果**

2億8千9百万以上
の PPE、診断薬、医薬品が
世界中に発送されています

(2020年12月18日時点)

**1万4,000人以上**

世界30か国以上の
約500の病院で
COVID-19治療の
ために Solidarity
試験に登録された
患者

**190か国**

ワクチンへの
公平かつ公正な
アクセスを実現
するために
COVAXに署名
した経済圏

**13億人以上**

WHOのウェブ
サイトを通じて
重要な健康情報
を得た人々

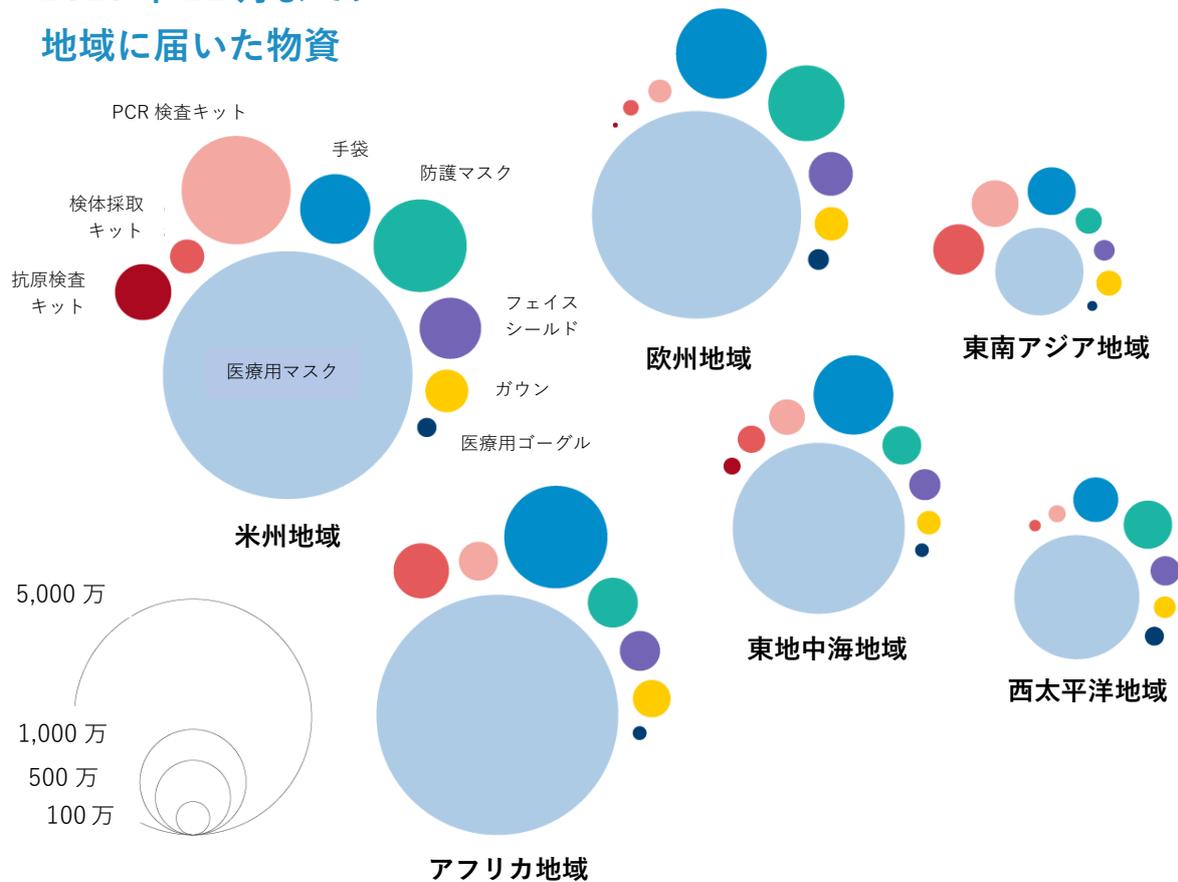
**500以上**

COVID-19の文書の
公開: 125以上の
ガイダンス文書から
10の研究プロトコル
まで

重要な物資へのアクセスの確保

パンデミックと戦うために命を懸ける医療従事者を保護することは、WHOの最大の優先事項のひとつでした。パンデミックの影響で必要不可欠な物資が急激に不足したため、[COVID-19 サプライチェーンシステム](#)を確立することで物資を補充し、その品質を保障し、各国によるサプライチェーンの舵取りを支援しました。

2020年12月までに 地域に届いた物資



全世界では

個人用防護具 (PPE)



1億9,240万
医療用マスク



3,040万
手袋



1,900万
防護マスク



840万
フェイスシールド



530万
ガウン



140万
医療用ゴーグル

検査用品



310万
抗原検査キット



700万
検体採取キット



1,560万
PCR検査キット

(2020年12月18日時点)

2020 年に実施された渡航制限や航空便の減便は、世界規模のサプライチェーンを非常に圧迫しました。WHO のロジスティクス部門は 24 時間体制で、最も必要としている人々に対応するための物資を調達しました。



マスクの必要性は広く知られていますが、同様に重要な資源であるにもかかわらずあまり一般には知られていないのが、[医療用酸素](#)です。医療用酸素は重症患者の呼吸を助け、挿管を避けることができます。

医療用酸素の生産と供給は、需要の予測が難しいために病院予算から取り残されることが多く、パンデミック前から世界的に課題となっていました。

COVID-19 への対応として、WHO は脆弱な国々のために医療用酸素を調達し、配布してきました。2020 年 12 月までに、WHO は、1 万 6,500 台以上の酸素濃縮器と 4 万台のパルスオキシメーターと酸素モニターを 121 か国に送りました。これらの装置は、例えば重度の[肺炎](#)の小児、手術を受けている人、妊婦など、より広い対象にも健康上のメリットをもたらします。

WHO はまた、パプアニューギニア、ウクライナ、ソマリア、南スーダンなどの国々と協力して、需要の増加に対するより持続可能な解決策、すなわち[酸素発生プラント](#)の開発に取り組んでいます。

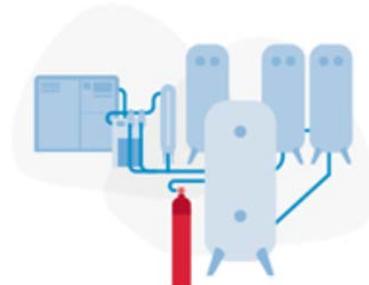
酸素：

パンデミックと
その先を変える



121 か国が

WHO から酸素濃縮装置を供給され、日々の患者の治療に現在使用しています。



14 か国が

持続可能な酸素システムを構築するために WHO によって支援されています。

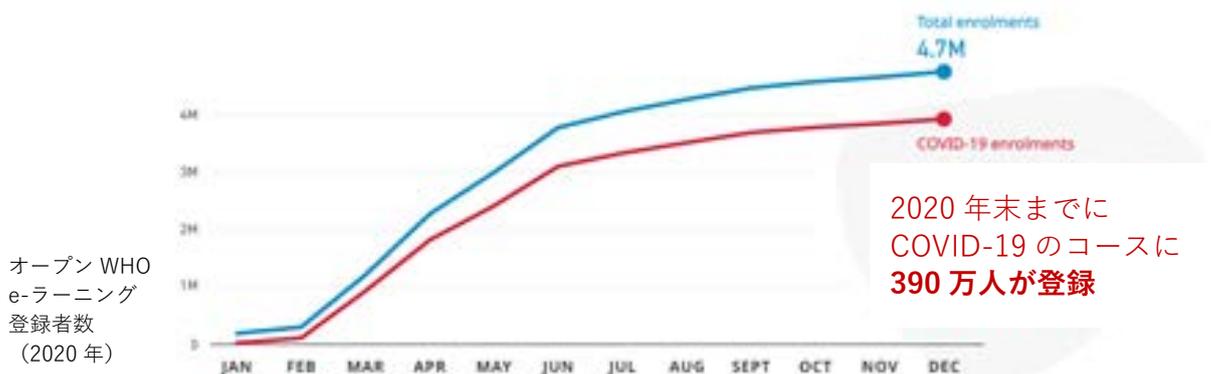
(2020 年 12 月 15 日時点)

メッセージを伝える

世界中の人々が、明確、正確かつ有益な情報を欲していました。2020年1月初旬に最初の [Disease Outbreak News](#) を発表したことを皮切りに、WHOはその需要に応え、年間で200以上の日報を [発表](#) し、40近くの疫学的・運用的な更新情報を発表しました。WHOは [COVID-19 ダッシュボード](#) を毎日更新し、パンデミックの最新状況をリアルタイムで提供しています。

最前線に対応する人が安全にパンデミックに対処できるように、[オープン WHO プラットフォーム](#) を通じて無料のオンライン・トレーニング・コースも配信しました。

COVID-19 対応人材の育成



オープン WHO オンライン学習の拡充

4月：20言語、60コース

12月：45言語、149コース



(2020年12月8日時点)

昨年、WHO は加盟国説明会を 38 回開催し、その中で 79 か国の保健大臣やその他の指導者が、連帯の精神に基づき COVID-19 の経験を共有しました。

メディアも重要なオーディエンスであり、パートナーです。WHO は 1 年で 130 回を超える [ジャーナリスト向けの状況説明会](#) を実施し、COVID-19 の最新情報を共有しました。WHO の上級幹部は他のパブリック・フォーラムにも参加しました。毎週 50 回以上の [#AskWHO Q&A](#) セッションをソーシャルメディア上で開催し、[Science in 5](#) シリーズでは、COVID-19 に関連する科学を一般の人々に説明する 19 のポッドキャストやビデオを配信しました。

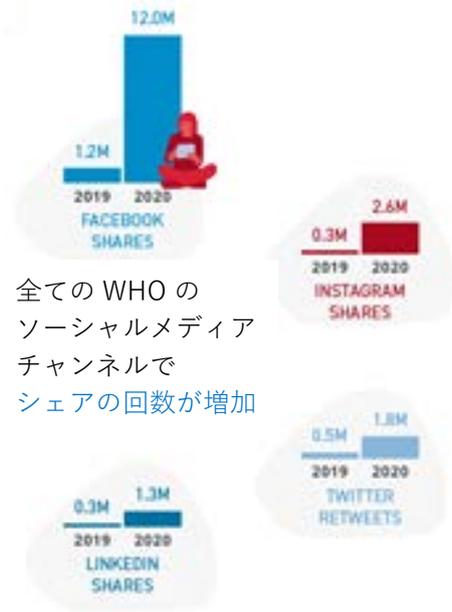
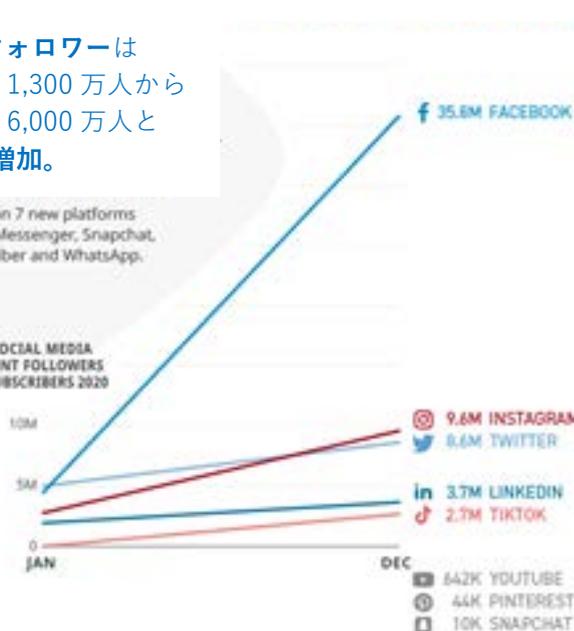
WHO はまた、[ウィキメディア財団](#)、Facebook (Instagram, [Messenger](#), [WhatsApp](#))、Google、LinkedIn、Pinterest、Snapchat、TikTok、Twitter、[Viber](#) などの企業を含む主要なパートナーと組み、新たなオーディエンスを巻き込んでいます。また [ミニオンズ](#) や [ペッパピッグ](#) など、愛されているキャラクターの製作チームとも連携しています。

ソーシャルメディアを介した広報

WHO のフォロワーは 2019 年の 1,300 万人から 2020 年には 6,000 万人と約 5 倍に増加。

WHO launched on 7 new platforms in 2020: GIPHY, Messenger, Snapchat, TikTok, Twitch, Viber and WhatsApp.

WHO SOCIAL MEDIA ACCOUNT FOLLOWERS AND SUBSCRIBERS 2020



全ての WHO のソーシャルメディアチャンネルでシェアの回数が増加



1,300 万人以上の WhatsApp ユーザーと 19 の言語でコミュニケーション、今後さらに言語を増加予定



50 か国以上にわたる 100 万人以上の Free Basics ユーザーにデータ通信料を課金なく情報を提供

(2020年12月1日時点)

[インフォデミック](#)、つまり COVID-19 のパンデミックに関する情報の氾濫を考えると、アウトリーチを拡張することは特に重要でした。出回っている情報の全てが信頼できる訳ではなく、ウイルスに関する有害な噂や誤報もありました。

各国への直接的支援

2020 年 2 月上旬、WHO は、国内外のパートナーとの活動を導くために、主要な公衆衛生対策をまとめた「[戦略的準備・対応計画](#)」を発表しました。

WHO は 150 の国事務局と 6 つの地域事務局を通じて、各国の政治家、医療従事者、病院長、情報発信者、物流の専門家、検査技師などと協力してきました。世界各国からの要請に応じて、専門家のバーチャル派遣団や対面の派遣団を送りました。

対応が行われている真っ最中に、その対応の評価や軌道修正を行うことが最も望ましいことから、30 か国以上の国々が WHO を招き、[イントラアクション・レビュー](#)と呼ばれるプロセスの中で、何がうまくいったかを判断し、今すぐに修正すべきことを特定し、次回への準備はどうすればよいかを考えました。

また WHO は 70 の[緊急医療チーム（国際基準）](#)の各国への派遣を支援し、840 の国家チーム（準国際基準）が緊急医療チームの手法を用いて動員されました。

70 の緊急医療チームを 44 か国に派遣

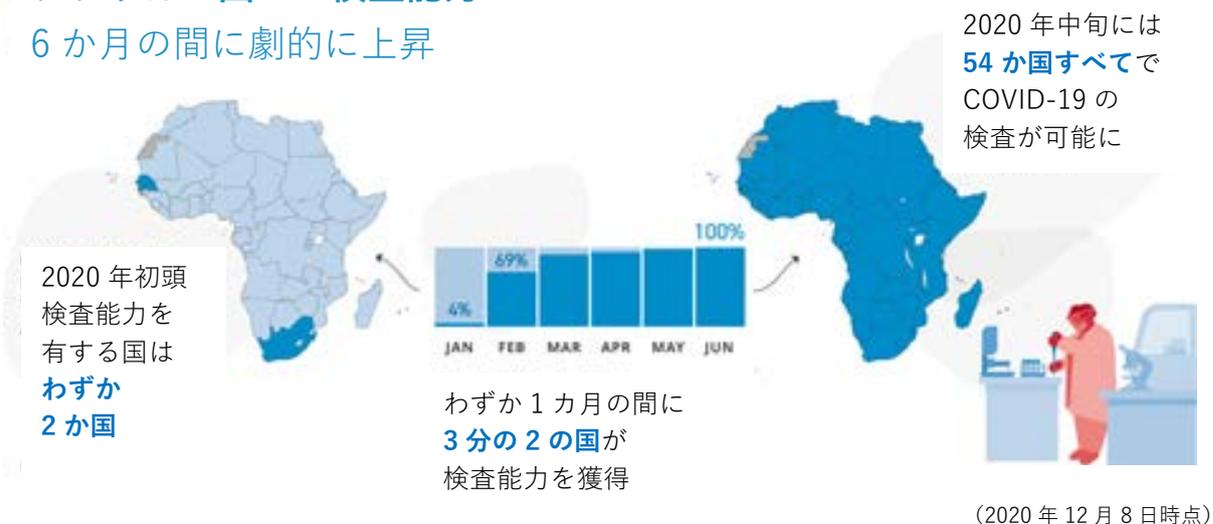


(2020 年 12 月 8 日時点)

しかし、世界中の COVID-19 への対応の根幹は、つねに医療従事者です。場所によっては、一時的にポリオなどの他の病気への対応からシフトしなければならないところもありました。アフガニスタン、パキスタン、ソマリア、南スーダンを含む国々で、30,000 人以上の [ポリオ担当者](#) が COVID-19 の潜在的な感染者やその接触者を追跡し、地域に情報を提供しました。パキスタンでは、[ポリオ・データ管理システム](#) により、感染者の検出を向上させることができ、COVID-19 に関する誤報を打ち消すのにも役立ちました。

WHO は、[世界中の検査キャパシティを高めるために](#)、技術的支援、バーチャルトレーニング、医療機器や物資を提供しました。例えば、COVID-19 が最初に出現した頃、ソマリアには分子検査を行うキャパシティが全くありませんでしたが、2020 年の終わりまでには、この種の検査ができる検査室が 6 つ設けられていました。

WHO の支援により アフリカの国々の検査能力が 6 か月の間に劇的に上昇



誰ひとり取り残さない

WHO は、23 の国連のパートナーと協力して活動する、COVID-19 危機管理チームを率いています。WHO はまた、パンデミックによって悪化した人道的危機に直面している 60 か国以上のニーズに対応するために、より広範な国連関連機関やパートナーと密に協力して、[グローバル人道対応計画](#) を策定し、実施しています。

WHO は、[COVID-19 への即時の社会経済対応に向けた国連枠組み](#) と [省庁間常任委員会](#) の推進も支援してきました。

最も困難な状況下では、WHO は必要不可欠な医療サービスの運営を維持するために努力しています。パンデミックを通して、各国と協力して、病院や診療所が他の疾患に苦しむ患者

を受け入れ続けるよう支援してきました。また、WHO は、[定期的な小児予防接種を継続し](#)、周産期医療も持続できるように各国を支援しています。

さらに他の緊急事態が発生したときにも支援を提供しました。レバノンの首都ベイルートの港が爆発による壊滅的な被害を受けた翌日には、[20 トン](#)の WHO の医療物資を積んだ飛行機が同国に到着しました。また WHO は、募金を呼びかけ、パートナーと協力して負傷者のフォローアップケアや医療従事者のメンタルヘルスケア支援を提供するとともに、現地における COVID-19 の検査と治療を拡大しました。

3 つの異なる状況における COVID-19 への WHO による対応



[COVID-19 に取り組むためにパキスタンの検査室のキャパシティを高める](#)
(2020 年 10 月 22 日)

[バングラデシュ：世界最大の難民キャンプでの COVID-19 への対応](#)
(2020 年 10 月 21 日)



[メキシコシティにおける疫学的サーベイランス主導の COVID-19 対応](#)
(2020 年 11 月 17 日)

科学と研究を中心としたパンデミック対応

2020 年に発表した [WHO R&D](#) の詳細な枠組みは、科学者、開発者、規制当局、資金提供者の間で、検査、ワクチン、治療法などを含む、パンデミックに関する重要な研究を加速させるための国際的な科学的共同研究のためのプラットフォームを提供しました。

早い段階で、世界中の 130 以上の科学者、資金提供者、および製造業者が COVID-19 のワクチン開発を加速させるために WHO と協力することを[約束しました](#)。

WHO は、このウイルスの性質とそれが引き起こす疾患や免疫反応、およびワクチン候補を評価するために必要なツールについて迅速に理解を深めるために、世界の優れた科学者によって、公表前のものも含めたデータの分析を進めています。

2020年2月、WHOはこの新しいウイルスに関する[世界規模の研究](#)とイノベーション・フォーラムを開催し、40か国以上から900名近くの専門家や資金提供者が参加し、これまでに得られた知見を評価した上で、前進するための課題を設定しました。

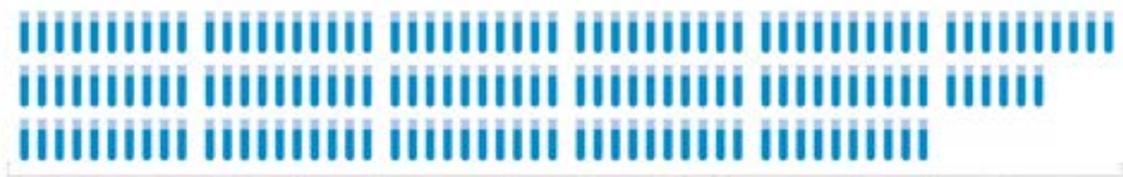
フォーラムは、ウイルスの拡大、制御方法、疾患の重症度、最も感染しやすい人などに関するその後の研究を[促進しました](#)。治療方法の評価、個人用防護具(PPE)の最適な活用方法、動物由来感染症を予防するための動物宿主の特定などが優先すべき研究課題として設定されました。

検査については、このフォーラムにおいて、地域における迅速検査の使用が重点検討課題とされました。治療法とワクチンについては、「コア・プロトコール」とプラットフォーム試験を用いて、治験薬およびワクチン候補の評価を加速させることになりました。

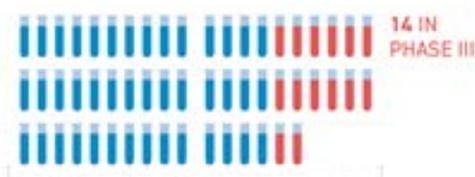
フォーラムでは、資金提供者の動員、アウトブレイク対応への社会科学分野の統合、そしてウイルス材料、臨床検体およびデータの国際的な共有を進めるための準備も整えました。

2020年末のワクチンの展望 (2020年12月17日時点。表記の数は日々更新されます。)

166の候補ワクチンが前臨床試験中



56の候補ワクチンが臨床試験中



臨床試験段階のワクチンが
成功する確率は約20%

前臨床試験段階のワクチンが
成功する確率は約7%



我々の目標は
安全で、有効な**ワクチン**です

ワクチンについては、WHOがその評価基準を設定しました。ワクチンに必要なとされる重要な特性を特定し、それらを用いて、ワクチンの政策、規制、配備に関する最善の意思決定を

行うために不可欠な、有効性と安全性のデータを生成するための臨床試験のデザインを推進しました。

WHO はまた、すべての候補ワクチンについて、それぞれ前臨床段階から臨床段階まで経過を追いながらその進捗を報告する、信頼性と権威あるワクチン候補ガイドを世界に提供しました。

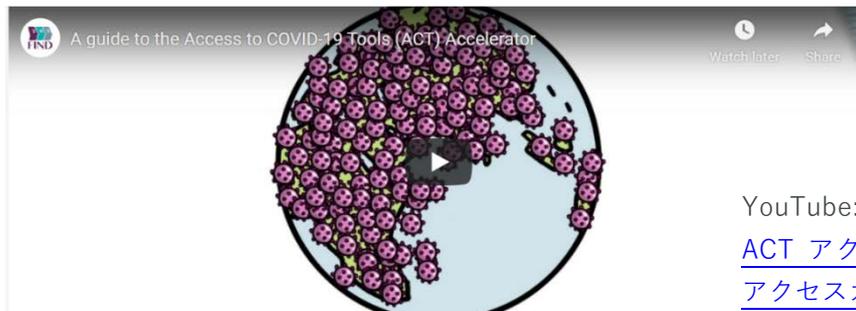
治療に関しては、2020 年 6 月に、WHO は、副腎皮質ステロイドであるデキサメタゾンが COVID-19 の重症患者の救命につながることを示した英国からの臨床結果を[歓迎しました](#)。

WHO の国際的な協力体制のもと、正しい治療法を迅速に見つけるためのグローバルな試験を世界で実施しました。

2020 年 3 月に開始された、WHO の [Solidarity trial \(連帯試験\)](#) は、COVID-19 の治療薬を対象とした世界最大級の臨床試験の 1 つとなり、治療薬候補としてのレムデシビルとインターフェロン β 1a の世界最大の試験となりました。

ピーク時には、30 개국、14,000 人以上の患者、500 近くの病院が試験に参加しています。最初に検討された 4 種類の薬剤について、患者の死亡率、人工呼吸の必要性、入院期間に対して有意な影響が認められなかったため、連帯試験の次の段階の対象として、モノクローナル抗体を含め、複数の薬剤候補を、独立した専門家のグループが検討しています。

ACT アクセラレーター



パンデミックが始まって以降、WHO はパートナーと協力して、COVID-19 に対抗するために必要なツールへのタイムリーで公平かつ手頃な価格のアクセスを促進してきました。

2020 年 4 月に WHO とパートナーによって[開始された](#)、COVID-19 のツールへのアクセス (ACT: the Access to COVID-19 Tools) アクセラレーターは、疾患と戦うためのツールを開発するための史上最速かつ最も調和された世界的な取り組みを実現させました。

ACT アクセラレーターは保健システムの強化へのコミットメントに裏打ちされた、COVID-19 の診断検査、治療薬、ワクチンへの公平なアクセスを確保することを目的としています。

診断：

- 中低所得国向けの迅速抗原検査を **1 億 2 千万個** 準備
- 中低所得国向けに **2,700 万個** 以上の分子検査と **1,200 万個** 以上の迅速抗原検査を調達
- 190 か国以上で **2 万 3,000 人** 以上にトレーニングを提供
- 2021 年の目標：年央までに 5 億回の検査を整備

治療：

- 唯一の WHO 承認の COVID-19 治療であるデキサメタゾンを **290 万回** 分調達
- **21** の治療薬に関して、**47 か国** にわたって **8 万 5,000 人** の患者が参加する **15** の臨床試験の実施を支援
- 2021 年の目標：年間 2 億 4,500 万コースの治療を実施

ワクチン：

- **190 か国** が COVAX ファシリティに参加
- 事前買取制度のために **24 億米ドル** を調達するも、さらなる資金が必要
- 2021 年の目標：年内に **20 億回** 分の安全で効果的なワクチンを接種

ワクチンに関する詳細

ACT アクセラレーターの重要な目標の 1 つは、COVID-19 のワクチンの安全な開発と製造の加速と、世界中の全ての国に公平で公正なアクセスを確保することです。COVAX ファシリティは、この目標を達成する上で重要な役割を果たしています。

WHO は [COVAX](#) の管理において、[感染症流行対策イノベーション連合 \(CEPI\)](#) と [Gavi ワクチンアライアンス](#) と提携しています。

2020 年末時点で、世界の人口の 90% を占める経済圏が、COVAX を通じてワクチンを受け取れる基準を満たしていました。また世界の最貧国のために、COVID-19 のワクチンへのアクセスを確保する革新的な金融メカニズムである、[事前買取制度 \(AMC: Advance Market Commitment\)](#) のために 24 億米ドルが調達されました。しかし、この業績をもってしてもなお、2021 年の AMC だけでも 46 億米ドルが必要とされています。

2021 年の課題への挑戦

WHO の COVID-19 への対応は、過去のアウトブレイクから得られた教訓に基づいています。

WHO の COVID-19 に関する初期のガイダンスは、中東呼吸器症候群 (MERS) に関する文書を参考にしました。各国が非常事態に備えることを支援する方法や、新たな疾患が発生した際に研究を加速させる方法などに関して、2014 年の西アフリカでのエボラ出血熱のアウトブレイク以降に実行した改革が、今回の COVID-19 への対応のスピード、柔軟性、および有効性を支えています。

しかし、2021 年にやるべきことはまだ沢山あります。パンデミックはまだ世界の大部分で猛威を振っています。大規模な資金不足もあります。

ワクチン・ナショナリズムにより、COVID-19 に対する最良のツールであるワクチンが、各国の間で公平に共有されないという真の危険性も存在します。多くの国の保健制度は、全ての保健領域を管理しながら、COVID-19 のワクチン、検査、治療を展開することに苦勞することが見込まれます。



YouTube: [Dr マイク・ライアン：COVID-19 ワクチンの公平な配分について](#)

原文 (英語) : **A year without precedent: WHO's COVID-19 response**

<https://www.who.int/news-room/spotlight/a-year-without-precedent-who-s-covid-19-response>